

提言第8号 救急医療における画像診断に係る死亡事例の分析

事例5

< 事例概要 >

- ・ 50 歳代の患者。胸痛があり他院で胸水貯留を指摘され、日中に救急受診。
- ・ 担当医師の診察時、息切れはあったが、胸痛は軽快していた。精査目的で胸部X 線撮影を依頼。
- ・ 担当医師と上級医師 2 名で画像を確認。画像上で縦隔拡大と胸水を認めたが、大動脈解離の可能性は低いと判断。胸膜炎疑いとして入院。入院後、血圧低下、頻脈、右肩甲骨の痛みあり、一時的に意識消失。心電図モニタを装着し経過観察中に心拍数低下。画像検査から約 14 時間後死亡。
- ・ 死因は大動脈解離破裂。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖 無。
- ・ 画像診断報告書 無。
- ・ 胸部X 線写真で軽度の縦隔拡大を認めた。